



『水戸路略記』(寛文9年)では、「相馬路」を「久浜(久之浜)より広野に至る十五里、この間に三川あり、久川(大久川)、折木川、浅見川といふ、みな徒渉す、また汀未知り長沢(永沢)といふ、風波の時には往来通ぜざれば別に歩行の山路あり、広野より木戸山田に至る六里、この間に岩沢あり、これ岩巖々たり」と、久之浜宿から広野の宿に至る道は極めて厳しかったことが書かれています。

現代では、国道6号線と、JR東日本常磐線の電車が南北に走り、駅は広野駅があり、常磐交通路線バスがあります。まもなく常磐自動車道も広野まで延長され、本格的な高速交通網に伴う、首都圏及び東北各地域との交流の活性化や産業集積の進展とともに、活力あるまちづくりがより一層推進されます。



## 21世紀を進む道

